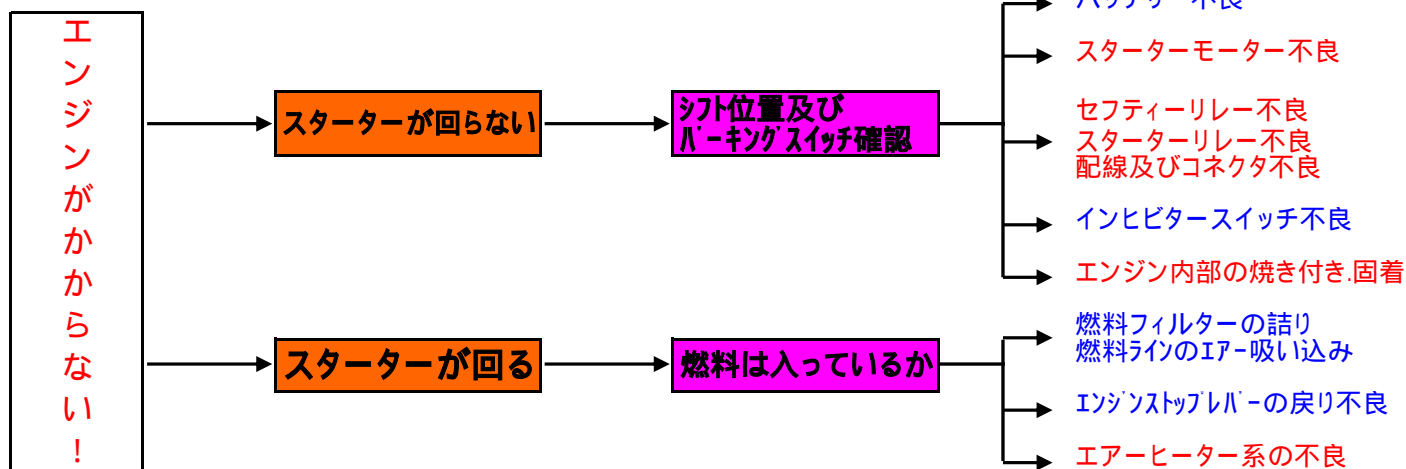


今回は少し目先を変え、エンジンが始動できなかった場合の故障箇所の見極め方と応急処置のしかたについて少しふれたいと思います。

## エンジンが始動できなかった時のお話



エンジンが始動出来ない場合あわてずに、スターターが回るか回らないか確認してください！

(スターは回転していても、フホイールにクランクしない場合はスター自体の故障です。)

スターターが回らない場合電気系統のトラブルが大半でまず上の表にある通りシフト位置がN(ニュート)であるか又はパーキングスイッチがONであるか確認してください。D・1・2・R位置ではスターターは回らないようになっています。嘘のような話ですが、よくある事例です。

慌てず**シフト位置を確認**してください！

スターターが回るのにエンジンが始動出来ない場合は、燃料系統のトラブルが大半です。

当たり前ですが、燃料が入っているか確認してください。まれにですが燃料計が故障している可能性もありますので確実に**燃料の有無**を確認してください。

上の表で青い色で書いてあるものについては、ある程度の応急処置がオペレーターの皆さんでも可能な場合があります。

## バッテリー不良

メンテナンスニュースVOL6でも紹介した通り**バッテリー・充電系のメンテナンスを怠ると**、このような事態に至ります。実際この冬このでの故障が多かったことは、いうまでもありません。

近くに同じような車輛がある場合ブースターケーブルで接続しエンジンを始動してください。

注意事項として接続時バッテリーのプラスとマイナスの端子を間違わない事。

ブースターケーブルは極力、太いものを使用してください。

細いものを使用するとケーブルが熱をもったり、セルモーターが回らない場合があります。

## インヒビタースイッチ不良

インヒビタースイッチはシフトの位置を検出しているスイッチです。先にも紹介した通り車両の暴走を防止する為、走行可能なシフトポジションではエンジンが始動出来なくなっています。

そのスイッチが接触不良をおこし、スターターが回らない可能性があります。そんな時はシフトレバーを壊れない程度に**ガチャガチャ動かして**、N(ニュート)で止めてエンジンを始動してみてください。

## 燃料フィルターの詰り及び燃料ラインのエア吸い込み

燃料フィルターの予備部品を持っていれば交換してください。持っていない場合や燃料ラインのエア吸い込みの場合とりあえず**燃料のエア抜き**を実施してみてください。

## エンジンストップレバーの戻り不良

エンジンストップレバーといっても運転席の中にはありません。エンジンの噴射ポンプについているものです。最近のエンジンは燃料をカットしてエンジンを停止しています。噴射ポンプに付いているレバーをエアシリンダーやソレノイドバルブ、電動モーター等で駆動させレバーを引っ張りエンジンを停止させています。この動きが悪くなりエンジンが始動出来ない場合があります。

このような場合**手動でこのレバーの動き**を確認してください。

又エンジンが停止出来ない場合緊急でこのレバーを引っ張ればエンジンは停止します。

レバーの位置が不明な場合国際サービス メカニックにお問い合わせください。

以上 ご不明な点、分からない事がありましたら国際サービスにご相談ください。